

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
長野市	31 大岡地区	令和3年3月16日	

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	208.50 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	125.79 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	67.41 ha
i うち後継者未定(目処はついている)の農業者の耕作面積の合計	7.69 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	59.72 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.40 ha

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区全体において、高齢化が進み、後継者・担い手の確保が困難である。</li> <li>・荒廃農地の増加に伴い農地周辺の山林化が進み、野生鳥獣による農作物への被害拡大の要因となっている。</li> <li>・急峻で狭隘な農地が多く、畦畔等の草刈り作業に掛かる労力と時間が農地利用の妨げとなり、耕作放棄地の拡大につながっている。</li> <li>・今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積よりも、70歳以上で後継者不明の農業者の耕作面積の方が多く、新たな引き受け手の確保が必要である。</li> </ul>
--

※ 地区の話し合いにおいて出された意見を基に「地区の課題」を作成

### 3 対象地区内における中心経営体(担い手)への農地の集約化に関する方針

<p>当面は、現在の耕作者が営農を継続するが、将来的には、大岡地区中山間地域農業活性化委員会が中心となり担い手を選出するほか、新規就農者の育成や入作を希望する認定農業者等の受入れを促進することで対応していく。</p>
--

※ 現在、中心経営体(担い手)として人・農地プランに掲載されている人数： 2人

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>○地域農業の活性化に関する取組方針                      農業経営における課題の解決や将来方針等を検討するため、「大岡地区中山間地域農業活性化委員会」が中心となり、新規就農者の育成や農地の利活用、地域ブランド品の確立など地域農業の活性化に取り組む。</p>
<p>○集落営農組織の設立に関する取組方針                      大岡地区中山間地域活性化委員会を中心として、機械、施設の共同化や労働時間の削減、農業技術の継承など、効率的な営農を促進するため、地域全体を一つとした集落営農組織の設立について検討を行う。</p>
<p>○野生鳥獣による被害防止対策の取組方針                      農地周辺の草刈りや団地全体を囲むような共同での侵入防止柵の設置、鳥獣を誘因する放置農作物の撤去等、野生鳥獣の被害防止対策について検討を行う。</p>
<p>○農地の草刈り等の共同管理に関する取組方針                      急傾斜地における畦畔の草刈り作業を軽減し、営農の継続と農地利用の拡大を図るため、草刈り作業の受託など共同管理に関する取り組みについて検討する。</p>

※ 「2 地区の課題」を解決するため、及び「3 中心経営体(担い手)への農地の集約化に関する方針」を促進するために必要と思われる地区の取り組みについて記載